

秦野市文化会館 令和5年度 事業計画書

《目次》

1. 管理運営の理念、方針
2. 管理業務の体制
3. 事業の概要及び実施する時期
4. その他の事項

令和4年9月 30日

みんなの文化会館はだのパートナーズ

1.管理運営の理念、方針

(1)管理運営理念は「みんなの文化会館」

私たちは、秦野市文化会館の設置目的「市民の文化向上及び福祉増進(秦野市文化会館条例第2条)」を達成するため、条例・法令を遵守し、利用者にとって公平・平等かつ安心・安全を確保しながら、市の芸術文化振興、賑わい創出の拠点として「みんなの文化会館」を合言葉に、市民とともに創り、育み、未来につなぐ新しい形の施設運営を目指します。

(2)10 の管理運営方針

上記の理念に基づき、次の10項目を管理運営方針とします。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ①優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します | ⑥with コロナ時代のサービスを提供します |
| ②公平・公正な運営を行います | ⑦大規模改修のアドバイス体制を整えます |
| ③安全・安心で快適な施設管理を行います | ⑧効率的で効果的な運営を行います |
| ④高いホスピタリティで利用者をお迎えします | ⑨環境配慮のSDGs運営を目指します |
| ⑤地域交流拠点として賑わいを創出します | ⑩市民との「共創運営」を目指します |

(3)秦野らしい「共創運営」を目指します

「みんなの文化会館」の理念に基づき、地域の様々なステークホルダーと連携する新しい「共創運営」の形を目指します。40年以上のメディア活動を通じ、地域社会と強い信頼関係を築いてきた代表企業の強みを生かし、みんなで地域の文化を育てようという地域共創の仕組みづくりに取り組みます。

【主な取り組み】

- 地域人材を活用した芸術文化事業
- アウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくり
- 地域の芸術文化を発信するメディア事業
- レストランスペースなどを活用した地元事業者との連携事業

(4)「賢い活用」「スマート化」の視点、ノウハウを取り入れます

私たちは「発信力」「企画力」「人脈・ネットワーク力」といった強みを生かし、施設の「賢い活用」「スマート化」の視点を重視した管理運営をすることで、事業収支を好転させ、収益をサービス向上に還元するという好循環を生み出すため、次のような事項に取り組みます。

【主な取り組み】

- 数値目標の設定
- マーケティング・営業活動の展開
- 適正な人員配置とスタッフのモチベーションアップ
- デジタル化推進
- 施設運営の効率化

(5)環境へ配慮したSDGs運営を目指します

SDGs経営の視点を大切に、次のようなことに取り組みます。



【主な取り組み】

- エネルギー使用量の目標を設定
- 公共交通機関での来館や節電・節水の呼びかけ
- ペーパーレス化
- ノー残業デー、クールビズ・ウォームビズの実施
- ごみ持ち帰り推進
- グリーン購入

2. 管理業務の体制

(1) 共同事業体「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の役割

- 最高意思決定機関
- 年度事業計画の策定と承認
- パートナーズ運営会議の開催
- 秦野市との指定管理者協定に基づく履行管理
- 事業体協定に基づく履行管理

(2) 「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の構成企業の役割

- 株式会社タウンニュース社(代表企業)…事業体事務局、施設の管理運営、自主事業の企画運営
- 株式会社日動計画…施設設備保守監視・環境衛生測定・清掃・保安警備
- 株式会社サウンドダック…舞台設備管理運営業務
- 株式会社関野建設…施設の点検・改修
- タウンニュース・エンターテイメント株式会社…自主事業の企画・レストラン運営

(3) 効果的な人員配置で高水準のサービスを提供

館長、事務管理職員、施設維持管理職員、舞台技術職員を効果的に配置し、万全の体制で業務にあたります。また、構成企業各社の本社職員が職務をサポートします。

貸館事務・事業運営の体制

館長が貸館事務・事業運営の統括を兼任し、1日5人常駐の体制で業務にあたります。また、タウンニュース社本社や秦野支社のサポート体制を強化し、事業運営や事務作業、広報業務などについて支援します。

舞台設備管理運営業務の体制

舞台、照明、音響の各技術担当を配置し、舞台設備の保守点検、運営、コンシェルジュサービスを提供します。

施設維持管理業務の体制

○日常清掃…1日3人の日常清掃員、2人の巡回清掃員を配置

○定期清掃…日動計画本社から派遣

○施設設備の保守監視業務…1日1～3人の従事者を配置

○環境衛生測定業務…建築物環境衛生管理技術者を1名選任及び配置

○保安警備業務…24時間警備とし、必ず1名以上が警戒態勢にあたるよう警備員を配置します。休館日及び閉館時間中においては、警備効果・コストパフォーマンスを向上させるため、機械警備を導入します。

(4) 危機管理体制

安全管理を最優先事項とし、様々なりスクを認識した上、法令規則の遵守を徹底し、安全・安心を確保する体制づくりと未然防止策を講じます。

- 日常点検、巡回警備、施設・舞台の定期点検等により、事故等の未然防止につなげます
- 危機管理マニュアル(事故・災害・防犯・緊急連絡先一覧)に基づき、年2回の防災訓練を実施します
- 感染症対策も危機管理と位置づけ、感染防止策を講じます

(5) 個人情報の管理体制

個人情報の漏えいは個人の権利侵害や行政の信用失墜につながるとの責任を強く認識し、市個人情報保護条例等を遵守し、情報の適正管理と保護徹底に取り組みます。代表企業の経営管理部長を個人情報管理責任者として配置し、個人情報保護規程の遵守、セキュリティ対策に取り組みます。

3. 事業の概要及び実施する時期

(1) 令和5年度 自主事業の実施方針

- ① 話題性のある人気アーティストの公演を実施します
- ② 市民が文化芸術に気軽に触れることができる場を提供します
- ③ 学校やサークル等の発表の場として市民が主役の舞台を提供します
- ④ 市内で活躍する若手アーティストの支援や、発掘を行います

重点施策：多種多様な音楽鑑賞の機会を提供します

令和4年度に実施した自主公演来場者へのアンケートでは、クラシックをはじめポップス・ロック・お笑い・演劇といった多種多様な公演ジャンルを期待していることがわかりました。令和5年度の自主事業は、多種多様な舞台鑑賞の機会を創出し、施設の利用促進につなげます。

(2) 令和5年度 年間の自主事業数

1. 実施基準

① 文化会館で行う市民の芸術文化の振興を目的とした事業

- ・やまなみファミリーコンサート 【4 事業以上】 ・丹沢音楽祭 【1 事業以上】
- ・山田和樹プロデュース公演 【1 事業以上】 ・その他、市民の文化振興に資する事業【4事業以上】

② 文化会館の利用促進、普及を目的とした事業(人寄せ要素を重視した公演)

③ その他の事業(芸術文化の振興及び会館の利用普及及び宣伝を図る事業)

※ホールでの公演事業は年間 15 事業以上とする

2. 実施回数

| 場所 | ①文化会館で行う市民の芸術文化の振興を目的とした事業 | ②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業 | ③その他の事業 | 計 |
|--------|----------------------------|-----------------------|---------|----|
| 大・小ホール | 9 | 6 | 0 | 15 |
| その他施設 | 42 | 10 | 6 | 58 |
| 合計 | 51 | 16 | 6 | 73 |

(3) 令和5年度 年間の自主事業スケジュール(案)

| 実施日 | 自主事業名 | 事業目的 | 会場 |
|----------|------------------|-----------|-------------|
| 4月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 4月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 4月1日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 4月6日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 4月7日(金) | はだの文化通信「ハルモニア」発行 | ③その他の事業 | タウンニュース紙面企画 |
| 4月20日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 5月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 5月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 5月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 5月4日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 5月6日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 5月18日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 6月未定 | やまなみコンサート | ①芸術文化振興事業 | 小ホール |
| 6月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 6月1日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 6月3日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 6月15日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 7月未定 | 演劇&人形劇フェスティバル | ①芸術文化振興事業 | 小ホール・展示室 |
| 7月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 7月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |

| | | | |
|-----------|--------------------|-----------|-------------|
| 7月1日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 7月6日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 7月7日(金) | はだの文化通信「ハルモニア」発行 | ③その他の事業 | タウンニュース紙面企画 |
| 7月20日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 8月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 8月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 8月未定 | 夏休みバックヤードツアー | ③その他の事業 | 館内 |
| 8月3日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 8月5日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 8月17日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 9月未定 | やまなみコンサート | ①芸術文化振興事業 | 小ホール |
| 9月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 9月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 9月2日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 9月7日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 9月21日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 10月未定 | 丹沢ロックフェス | ①芸術文化振興事業 | 大ホール |
| 10月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 10月5日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 10月6日(金) | はだの文化通信「ハルモニア」発行 | ③その他の事業 | タウンニュース紙面企画 |
| 10月7日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 10月19日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 11月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 11月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 11月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 11月2日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 11月4日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 11月16日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 12月未定 | やまなみコンサート | ①芸術文化振興事業 | 小ホール |
| 12月未定 | クアーズテック クリスマスコンサート | ①芸術文化振興事業 | 小ホール |
| 12月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 12月2日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 練習室、レストラン |
| 12月7日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 12月21日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 1月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 1月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 1月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 1月4日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 1月12日(金) | はだの文化通信「ハルモニア」発行 | ③その他の事業 | タウンニュース紙面企画 |
| 1月18日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 2月未定 | 自主事業 | ②利用促進普及事業 | 大ホール |
| 2月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 2月1日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 2月15日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 3月未定 | やまなみコンサート | ①芸術文化振興事業 | 大ホール |
| 3月未定 | 丹沢音楽祭 | ①芸術文化振興事業 | 大ホール |
| 3月未定 | ランチタイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 3月未定 | ティータイムコンサート | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 3月2日(土) | サタデーフェスティバル | ②利用促進普及事業 | 市民広場、ホワイエ |
| 3月7日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 3月21日(木) | 歌声喫茶 | ①芸術文化振興事業 | 練習室、レストラン |
| 3月29日(金) | 「HADART」(仮称)発行 | ③その他の事業 | 冊子発行 |
| 未定 | 山田和樹プロデュース公演 | ①芸術文化振興事業 | 小ホール |

4. その他の項目

(1) 市民意識調査

令和5年度からの施設運営に市民ニーズを反映させるため、代表企業のタウンニュース社では令和4年12月に秦野市文化会館に関する市民意識調査を実施します。

市民意識調査の実施概要

○実施日：令和4年12月上旬

○実施方法：①タウンニュース秦野版紙上で告知し、web フォームで受付
②秦野市文化会館内でアンケート用紙を設置し、同館回収箱で受付
③回答者数の確保のため、抽選プレゼントを用意

○設問内容：施設への訪問歴、興味のある公演ジャンル、施設へのイメージ、意見・要望

(2) レストランの運営

令和3年12月実施の「秦野市文化会館に関する市民意識調査」で、「利用しやすくなると思うサービス」の設問について、4割の回答者がレストランサービスを挙げており、レストラン事業は、引き続き重点施策の一つに位置付けて取り組みます。

令和5年度は、直営によるカフェレストランの業態を継続し、ワーキングブースデスクやWi-Fi環境を生かしてコワーキングスペースとしての利用も促します。また、地元事業者との連携企画「コラボカフェ」の取り組みや地元食材の活用など、地域の魅力を生かした運営に取り組みます。

(3) 大規模改修工事アドバイザー業務

秦野市文化会館大規模改修のアドバイザー業務では、「特定天井の基本設計に係る専門者会議」に共同事業体関係職員が出席し、施設運営者の立場から意見の共有を図ります。また、専門者会議から求められた資料の提出やヒアリングに随時協力し、市の特定天井改修実施設計業務に協力します。

(4) プロモーション強化

令和3年12月実施の「秦野市文化会館に関する市民意識調査」で、「利用しやすくなると思うサービス」の設問について、7割の回答者が「催し物の広報・PRの強化」、2割が「施設の分かりやすい案内」を挙げています。以上を踏まえ、令和5年度もプロモーション強化を重点施策に位置付け、オリジナルメディアの展開とクロスメディアでのプロモーションに取り組み、施設利用の促進につなげます。

1. オリジナルメディアの活用・運営

| | |
|-------------|--|
| ○利用案内パンフレット | 施設概要、ホール利用の案内パンフレットを活用します |
| ○利用案内動画 | 施設の魅力を映像で紹介する利用案内動画を配信します |
| ○ホームページ | ホームページ上で施設情報やイベント情報などを配信します |
| ○SNS | Facebook・Twitter・LINE@等のアカウントで情報を発信します |
| ○月刊「催し物案内」 | 文化会館の催し物スケジュールを紹介するA4版の月刊紙を発行します |
| ○自主事業の販促物 | 自主事業を開催する際は、チラシやポスター等、販促物を制作します |

2. オウンドメディア「タウンニュース」の活用

○クアーズテック秦野カルチャーホール情報コーナーの定期掲載化

タウンニュース秦野版(34,690部新聞折込+店舗施設配架)上で本施設に特化した情報コーナーを連載し、利用対象となる秦野市民に情報を届けます。

○自主事業は紙面広告を全県展開

神奈川県内全域と東京都多摩地区の全 43 地域(1,865,970 部新聞折込+施設配架)で紙面を展開している当社の強みを生かし、自主事業の告知について市外へのプロモーションを行います。クアーズテック秦野カルチャーホールの知名度アップ、「文化芸術のまち」としてのシティプロモーションにもつなげます。

○利用団体のイベント周知

文化会館利用団体のイベントについて、タウンニュース紙上で報道します。地域メディア社が管理する施設であるという強みを十分に発揮し、利用団体と市民とのつながりを創出する文化芸術の活動拠点として機能するよう、広報支援に取り組みます。

(5)市内芸術振興及び文化会館の利用普及、宣伝をはかる取り組み

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、秦野市の文化芸術振興に寄与し、広く親しまれる施設運営をするため、それらに資する自主事業と広報活動に取り組みます。

1. 多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する自主事業

「みんなが身近に音楽に触れる機会」「子供たちが芸術に触れる機会」「みんなが発表・活躍する機会」「みんなが文化会館を知る機会」を創出するため、大小ホールだけではなく施設全体を活用し、多様な事業を行います。また、地域人材などを活用したアウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくりに取り組みます。

2. 市の芸術文化振興へ 文化会館と連動した新媒體の創刊

市内の芸術文化振興のため、文化会館と連動した下記のような新媒體を制作します。

○芸術文化創造マガジン「HADART はだあーと」

市内で活躍するアーティスト、文化芸術団体の活動、誰もが楽しめるアート体験の場など、市民が地域の文化芸術に触れてみたくなる話題を集めて発行します。情報公開の観点から、市に提出する事業報告書の内容についても掲載します。(年 1 回、A4 版 24 頁 10,000 部発行予定)

○タウンニュース全面特集企画「芸術文化通信 harmonia ハルモニア」

タウンニュース秦野版で全面 1 頁～見開き 2 頁の芸術文化通信を企画します。芸術文化活動に光を当てる特集記事、文化会館の公演情報、地域のイベント情報等を掲載します。(年 4 回発行予定)

秦野市はだの丹沢クライミングパーク

指定管理業務 令和5年度事業計画書

《目 次》

1. 指定管理者の構成
2. 管理運営方針
3. 事業の概要（維持管理、利用促進、利用者対応、
事故防止等、地域連携）
4. その他の事項

令和4年9月30日

神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体

1 指定管理者の構成

私たちは、公益財団法人神奈川県公園協会（以下「グループ代表」）と小田急電鉄株式会社（以下「小田急」）の2社で構成するグループです。

グループ代表の豊富な指定管理実績と小田急の交通ネットワークや広報・企画力を融合し相乗効果を発揮することで、本施設の設置条例の目的を達成し、その機能を最大限に高め、良好な利用者サービスの提供と費用対効果の向上を図り、利用者の満足が得られる管理運営を実現します。

また、神奈川県山岳連盟と連携しスポーツクライミングの普及振興を図ります。



2 管理運営方針

山岳スポーツセンター等と一体となった管理運営

本施設の管理運営に当たっては、山岳スポーツセンター（以下「山岳SC」）を始め、秦野戸川公園や秦野ビジターセンター（以下「秦野VC」）の指定管理者として、連携しながら一体的な運用を行うことで、全国的なスポーツクライミングの聖地としての魅力を高め、市民の健康増進や表丹沢の魅力向上と観光振興、クライミングの普及振興と利用者の裾野の拡大を図っていきます。

また、秦野市や神奈川県などと連携しながら、本施設を含めた4施設の広域利用の促進と相乗効果による魅力の向上により、地域振興の核となる拠点づくりを進めます。



1 施設等の維持管理

利用者の安全を最優先に、確実な巡視と保守点検、適切な修繕を行うことで、予防保全を基本とした施設の長寿命化と利用者の安全で快適な利用の確保を図ります。

特に、ボルダリング壁の安全確保については、山岳S Cを維持管理してきたノウハウを生かし、壁管理に精通した職員による日常点検やルートセットに合わせた専門業者による点検を確実にを行い、異常の早期発見と早期対応を行うなど、安全な施設管理を実施します。

ア) プレーイングクオリティを保つウォール管理

ウォールの点検：日常点検により異常の早期発見に努め、利用者が安心して利用できる環境を保ちます。安全上の問題が見つかった場合には、利用制限を行い、市と調整のうえ早期対応を行います。

魅力あるルートセット：ボルダリング利用者の拡大を図るため、利用者目線による魅力あるルートセットを日ごろから検討し、ホールド設置を行います。



イ) 秦野戸川公園と一体となった広場空間の維持

本施設周辺の広場が公園の一部として機能するよう美観を維持します。

草地管理：利用者の滞留場所としての機能を保ち、ヤマビルの発生を抑制するため、小まめな草刈りを実施します。

樹木管理：定期的な軽剪定に加え、日常巡視における枝折れや倒木等の早期発見と早期対処を行います。

花壇管理：公園のチューリップ等の大規模花修景と併せた植栽等、四季を通じた花の魅力向上を図ります。

四阿等屋外施設：施設の劣化や破損等を早期発見します。



ウ) 清掃業務

施設の美観と衛生を維持し、利用者の満足が得られる維持管理を行います。特に、ウォール周辺や衛生面への配慮が必要なトイレや更衣室は、定期的な清掃に加え、繁忙時には随時清掃を行うなど、こまめな清掃を行います。



エ) 警備業務

日常的な巡視による警備：開館中は職員による見回りを随時行い、ゴミや危険物の確認、利用指導等を行い、利用者の安全を守ります。

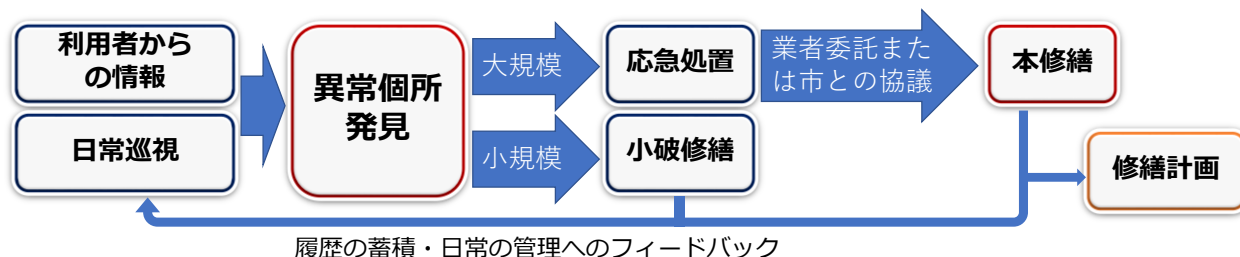
閉館時や休業日の警備体制：機械警備を行います。異常があった場合は、警備員が現場に急行して応急対応を行うとともに、市や警察等に報告、協力を要請します。

オ) 設備の保守管理

利用者の安全を最優先とした保守点検・修繕の実施：放送設備や機械設備等の動作確認

や目視巡回などの日常点検は職員で実施し、法令等に基づく定期点検などは専門業者に委託して実施します。

計画的な修繕と保守点検：保守点検や修繕を行った場合は、以後の維持管理へ反映させることで、異常箇所の早期発見と安全で効率的な維持管理を行います。



2 利用促進のための取組

本施設は、年間を通じて幅広い世代に利用されています。こうした利用状況を踏まえ、初心者や中・上級者、ファミリー層からトップ選手まで、幅広い世代の利用を促進します。

また、山岳ＳＣ等と連携し、更なるスポーツクライミングの利用促進を図るとともに、秦野市の観光振興や地域振興の拠点づくりに取り組みます。

ア) スポーツクライミング競技の振興

レベルに応じたボルダリング教室：初級、中級、上級と参加者のレベルに応じたボルダリング教室を開催し、ニーズに合わせた競技振興を図ります。さらに、ステップアップを目指す方には、山岳ＳＣのリードやスピード競技を案内し、クライミング３種目の振興にも貢献します。

ワンポイントレッスン：スタッフによる初心者を対象としたワンポイントアドバイスを行う時間帯を設定し、引き続き、気軽に利用できる機会を設けます。

各種サービスデー：平日や閑散期の利用促進を図るため、レディースデーやシルバーデーなど、ターゲットを絞った割引日を引き続き実施します。

スポーツクライミング競技の普及：小田急が行う駅周辺イベント活動において、秦野市が所有する移動・持ち運びが可能なボルダリングパネルを活用した体験会を行います。

イ) 山岳スポーツセンターと協働したスポーツクライミングの利用促進

だれもが楽しめる山岳スポーツ普及イベントの合同開催：競技人口の裾野拡大を図るため、初心者を対象とした本施設と山岳ＳＣとの合同体験会の開催に向けた調整を進めます。また、山岳ＳＣで開催している「視覚障がい者を対象とした体験クライミング」の本施設との合同開催に向けた検討・準備を行います。更には、３種目複合の大会開催に向けた検討を行います。

ウ) 市や県を代表する大会の開催及びサポート

市内競技者を対象としたクライミング大会「はだの丹沢カップ」開催のほか、国体予選となる「クライミングコンペオール神奈川」、インターハイ神奈川予選会、ジャパンカップツアーなどの大規模大会開催に当たっても、主催者や山岳ＳＣと連携を図りながら運営をサポートします。



クライミングの競技大会

エ) オリンピックのレガシーの継承

スポーツクライミングは、東京 2020 オリンピックで初めて正式種目となったことから、代表選手、有名選手のメッセージや写真展示を継続実施し、一過性のブームで終わらせることなく、レガシーの継承に貢献していきます。



オ) 多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等

本施設のほか、山岳 S C、秦野戸川公園、秦野 V C と連携一体化した広報や情報発信を行うことで、相乗効果による効果的な広報を行います。

地域に根差した広報や交通事業者との連携（小田急の強みを活かした広報 PR）、グループ代表が培った地域連携を活かした広報、独自の広報ツールの活用などを行います。

3 利用者対応・サービス向上の取組

子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安全・安心・快適に施設を利用していただけるよう、スタッフ全員が利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客を行います。

ア) 接客や情報共有、利用者との対話によるサービスの向上

窓口や電話での分かり易い対応や、対話による利用者サービスの向上に努めます。

イ) 平等な利用の確保

利用ルールの徹底や、全ての人に安全で快適な利用環境を提供できるユニバーサルなサービス対応などを行います。

ウ) ユニバーサルなサービスの提供

障がい者や高齢者、子育て世代、外国人利用者への適切な利用者対応を行います。

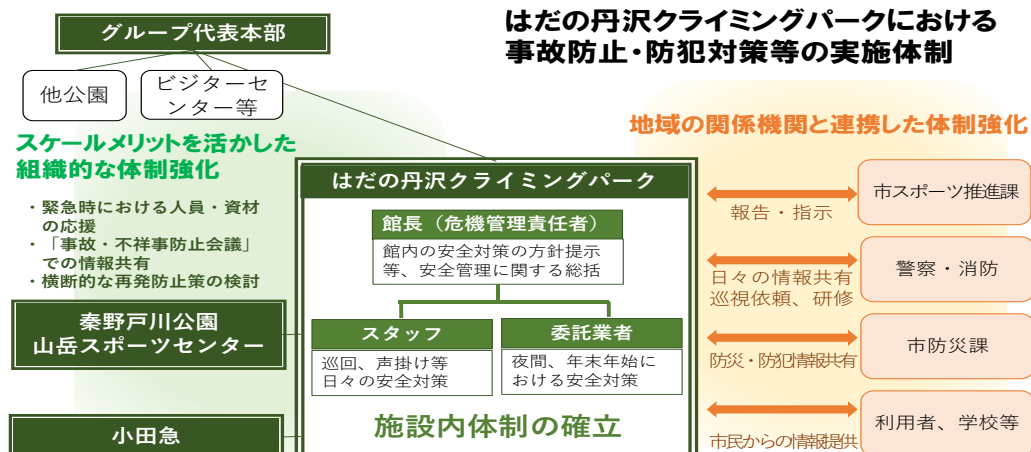
エ) 利用者ニーズ・相談や苦情等への対応と事業等への反映の仕組み等

相手の立場に立った真摯な対応と知識や経験を有する職員の対応、利用者ニーズを把握した継続的な改善に努めます。

4 事故防止等

ア) 日常の事故防止、緊急時の対応

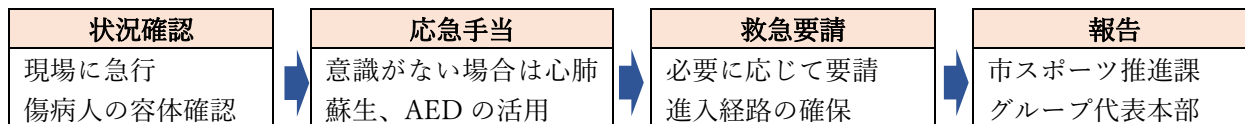
館長を危機管理責任者とした体制の確立に加え、関係機関や地域等と連携した体制の強化、情報共有や巡視等の徹底により、事故等を未然に防ぎます。



ボルダリングの利用指導が適切にできる経験者を配置して利用者指導を行うとともに、日常巡視により不法行為等の防止に努めます。また、職員研修を実施します。事故発生時には、人命を優先とした迅速な対応を行い、再発防止に努めます。

イ) 急病人及び新型コロナウイルス等への対応

急病人が生じた際には、次のように対応します。



また、救命に関する職員研修を行うとともに、AEDや救急キットを常備して必要に応じて応急措置を行います。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、入館時の体温チェックや手指の消毒、マスク着用、大きな声での会話の自粛、利用人数制限などにより、感染拡大防止に取り組みます。



窓口のシート、非接触型体温計の設置

ウ) 災害への対応

台風の接近や大雨洪水等の警報発表時には、リアルタイムな情報収集とともに、山岳SCや秦野戸川公園と連携した注意喚起等を行います。また、大規模震災への対応として、防災訓練や職員教育、避難者等の受け入れなどを行います。

5 地域と連携した魅力ある施設づくり

ア) 山岳スポーツセンターと協働し、3つのクライミング施設を活用した地域経済活性化に繋がる取組

クライミング拠点としてのイベント開催：

ボルダリング体験会の実施に加え、施設前の広場などでのイベントを協働で企画検討し、クライミング拠点としての知名度向上を図り、秦野市の活性化につなげます。

地域に愛されるクライミング拠点としての広報・PR：

地元企業への働きかけや、教育機関の活動支援、子育て世代への情報発信、表丹沢エリアの活性化拠点としての魅力発信の調整などを行います。

「4館調整会議」による相互利用促進：

山岳SC、秦野戸川公園、秦野VCとの「4館調整会議」を定期的で開催し、連携強化による利用拡大とサービスの提供を行います。

イ) 地域団体等との連携

秦野市スポーツ協会や秦野市観光協会、県山岳連盟と連携した利用促進を図ります。

ウ) 地域に愛される施設づくり

日ごろのイベントや大会等の開催時に地域住民へチラシ・ポスターなどを配布し、本施設への理解を図りつつ、交流を図ります。

エ) 市内事業者の活用・市民の雇用

業務の一部を委託する場合は、特殊・専門的な業務を除き、地域に精通し、迅速かつき